

愛知県図書館資料選択基準

愛知県図書館資料収集方針（以下「方針」という。）に基づき、資料選択の基準を次のとおり定める。

1 重点収集資料

方針第3「1重点収集資料」は、以下の3つの分野を対象とする。収集する資料形態は、図書、新聞、雑誌、録音・映像資料を始め、パンフレット類も対象とする。

(1) ものづくり文化資料

- ・産業関係の歴史的資料から最新のビジネスや起業の支援等に係る愛知県及び県内市町村の独自の取組等に関する資料まで幅広く収集する。特に、産業振興施策、創業支援事業などに関する資料は積極的に収集する。
- ・社史、団体史等は幅広く収集する。
- ・県内の高校や大学等の教育機関、研究機関の発行する産業関係の資料を収集する。

(2) 地域資料

- ・愛知県及び県内の自治体について書かれた資料は、網羅的に収集する。
- ・愛知県に隣接する地域、旧藩時代の尾張、三河の各藩が支配した地域など、愛知県と関わりの深い地域に関する資料は、積極的に収集する。
- ・愛知県と密接な関わりのある人物について書かれた資料は、網羅的に収集する。その他の愛知県出身者・在住者について書かれた資料は、積極的に収集する。なお、人物の立場によっては、一般資料とすることもある。
- ・愛知県出身者・在住者の著作で著者の個性の成果物である芸術、文学作品などについては、積極的に収集する。なお、広範な利用が想定される資料は、一般資料とすることもある。
- ・県内市町村の歴史、祭り等の地域文化、観光情報、まちづくり・まちおこし等現在の地域の課題に関する資料は、網羅的に収集する。
- ・愛知県及び県関係機関が刊行した資料は、網羅的に収集する。
- ・県内市町村の市町村史誌等は、網羅的に収集する。
- ・県内市町村の行政資料は、主なものを収集する。

(3) 健康・医療資料

- ・健康、医療、介護等の資料は、幅広く収集する。
- ・病気及び医療についての理解を深めるのに役立つ資料は、積極的に収集する。代替医療は客観性、科学性、信頼性に留意し、精選して収集する。
- ・エビデンス（科学的根拠）に基づいた診療ガイドラインは、積極的に収集する。
- ・病名から検索できる資料は、積極的に収集する。
- ・介護に関する資料は、介護家族のための入門書から介護職のための技術的な資料、介護保険に関する資料、介護施設に関する資料など幅広く収集する。愛知県及び県内市町村や県内の関係団体が発行した資料も、情報提供用のパンフレット類も含めて幅広く収集する。

2 一般資料

(1) 図書

(共通基準)

- ア 事典（辞典）、年鑑、索引などの参考図書は、積極的に収集する。
- イ 白書、統計報告書などの政府刊行物は、積極的に収集する。
- ウ 新たな体系でまとめられた全集は、積極的に収集する。一般的な選集などは、主要なものを収集する。
- エ 各分野の代表的人物の著作やその人物について書かれた図書は、積極的に収集する。
- オ 社会的関心の高いテーマに関する図書は、積極的に収集する。
- カ 増補、改訂版については、その程度・内容を考慮して収集する。
- キ 類書が多い分野は、代表的な観点で書かれた図書を収集する。
- ク 原則として、文庫版より単行本版を優先して収集する。
- ケ 古書、復刻版は、資料的価値が高い図書を収集する。
- コ 外国語図書については、各分野の主要な参考図書を中心に収集する。
- サ 特定主題をもつ漫画は、一般図書として収集する。
- シ 利用者からのリクエストされたものは、市町村立図書館の所蔵状況を考慮して収集を検討する。
- ス 以下の図書は、原則として収集しない。収集する場合は、精選する。
 - ・個人、団体の宣伝を目的としたもの。
 - ・受験のための問題集など。
 - ・低俗、不健全なもの。
 - ・形態上、利用保存に適さないもの。
 - ・内容が高度で利用が極めて限定されるもの。

(分野別基準)

各分野においては、特に以下の点に留意して収集する。

ア 総記

- ・図書館、図書館学に関する図書は、積極的に収集する。
- ・情報科学に関する図書は、入門書から専門書まで収集する。
- ・コンピュータ（ソフトウェア）に関する図書は、それぞれの分野の最新の情報に留意し精選して収集する。主要なソフトウェアに関する図書は、最新版に更新するように努める。
- ・読書論、読書指導、読書調査に関する図書は、積極的に収集する。
- ・日本の百科事典の最新版は、積極的に収集する。外国語の百科事典は、主要国の代表的なものを収集する。

イ 哲学・宗教

- ・世界と日本の主要な哲学者の代表的な著作及び哲学に関する解説書、研究書などを収集する。
- ・世界と日本の主要な宗教の聖典及び宗教に関する解説書、研究書などを収集する。
- ・超心理学、心霊研究、占いなどに関する図書は、精選して収集する。
- ・人生訓に関する図書は、精選して収集する。

ウ 歴史・地理

- ・歴史に関する基本的な史料を積極的に収集する。
- ・世界と日本の歴史に関する主要な解説書、研究書を収集する。

- ・都道府県の自治体史は、積極的に収集する。その他の自治体史は、主要なものを収集する。
- ・隣接県及び愛知県に関連の強い地域の歴史に関する図書の収集に留意する。
- ・伝記は、国内外を問わず、各分野、各時代の代表的な人物を中心に収集する。
- ・旅行ガイドブックは精選する。主要なものは必要に応じて最新版に更新する。

エ 社会科学

- ・各国事情に関する図書は、各々の国を漏れなく収集するように努め、特に出版点数の少ない国や地域に留意する。
- ・法律に関する図書は、入門書から専門書まで収集する。特に法令の制定や改正などに留意する。
- ・政治、経済に関する図書は、古典的な著作から最新のものまで収集する。時事性、話題性のある図書に留意する。投資、利殖に関する図書は精選する。
- ・労働、社会福祉、社会問題に関する図書は、社会的関心の高い分野を積極的に収集する。
- ・教育に関する図書は、学校教育だけでなく、家庭教育、生涯学習の分野からも収集する。教師向けの指導書は精選する。
- ・風俗習慣、民俗学に関する図書は、地域や民族に留意して収集する。
- ・冠婚葬祭に関する実用書は、時代に即した資料を精選して収集する。

オ 自然科学

- ・客観性、科学性、信頼性に留意し、新しい研究成果に配慮して最新の図書を収集する。
- ・科学分野の評論については、著者、話題性、内容に留意し精選して収集する。
- ・数学、物理学、化学に関する図書は、新しい研究成果を踏まえつつ基礎を理解する図書を中心に収集する。
- ・医学、薬学に関する図書は、病気及び医療についての理解を深めるのに役立つ図書を中心に収集する。代替医療は客観性、科学性、信頼性に留意し、精選して収集する。

カ 技術・工学

- ・工学に関する図書は、技術の革新や進歩に留意し収集する。
- ・環境に関する図書は、多様な観点から書かれたものを収集する。
- ・建築に関する図書は、入門書から専門書まで主要な図書を収集する。
- ・通信工学に関する図書は、技術や制度の変化に留意する。特に進展の著しいインターネット関連の図書は積極的に収集する。
- ・日常生活に身近で実用的な住宅、自動車、生活用品などに関する図書は、最新のものを精選して収集する。
- ・生活科学に関する図書は、学術的なもののほかに、日常生活に役立つ実用書も精選して収集する。

キ 産業

- ・各種産業に関する図書を収集する。新しい技術や研究成果及び社会的動向に留意する。
- ・商業、運輸、通信事業に関する図書は、最新の企業動向、時事性、話題性に留意して収集する。
- ・家庭園芸、ペットなどに関する図書は、精選して収集する。

ク 芸術・スポーツ

- ・美術作品集は、国内外の著名な作家の作品集を中心に収集する。

- ・写真集は、芸術性、記録性などに留意し精選して収集する。
 - ・音楽に関する図書は、クラシック音楽やポピュラー音楽を始め、邦楽や民族音楽など、幅広い分野の図書を収集する。
 - ・スポーツに関する図書は、新スポーツやルール改正に留意し精選して収集する。
 - ・囲碁、将棋、ゲームなど室内娯楽に関する図書は精選して収集する。
 - ・絵画、書道などの技法書は精選して収集する。
 - ・漫画は受賞作などを中心に、社会的評価の高い作品を精選して収集する。
- ケ 言語
- ・外国語学習などに関する図書は、入門書を中心に収集する。
 - ・主要な言語（英語、ドイツ語、フランス語など）以外の言語に関する図書は、積極的に収集する。
- コ 文学
- ・古典文学から現代文学まで、日本及び各国の文学作品、研究書などを収集する。
 - ・現代文学は、話題性、社会的評価に留意して収集する。
 - ・主な文学賞受賞作品は、積極的に収集する。
 - ・欧米以外の文学作品などにも留意する。

(2) 新聞

- ア 一般紙
- ・全国紙は、網羅的に収集する。
 - ・地方ブロック紙は、積極的に収集する。
 - ・隣接県の新聞は、積極的に収集する。
- イ 専門紙
- ・各分野の主要な新聞を収集する。
- ウ 地域新聞・県内地方版
- ・愛知県の地域新聞は、網羅的に収集する。
 - ・全国紙の県内地方版は、積極的に収集する。
- エ 形態の異なる新聞
- ・縮刷版は、積極的に収集する。
 - ・全国紙の県内版及び地域新聞は、マイクロ形態での収集に努める。
- オ 外国語新聞
- ・国内発行の主要な外国語新聞を中心に収集する。

(3) 雑誌

- ア 総合雑誌
- ・主要な総合雑誌を積極的に収集する。
- イ 専門雑誌
- ・各分野の主要な雑誌を積極的に収集する。
- ウ 学術雑誌
- ・学会誌、協会誌、技報などの雑誌を収集する。ただし、特に高度な技術雑誌は、利用が限定されるため精選する。
 - ・県内大学の発行する紀要は、積極的に収集する。
- エ 地域雑誌

- ・県内で刊行された雑誌は、積極的に収集する。特に地域に関する研究誌は、網羅的に収集する。

オ 外国語雑誌

- ・世界の代表的な総合誌を収集する。

カ その他

- ・復刻版は、資料的価値が高いものを収集する。
- ・趣味・娯楽雑誌は、精選して収集する。

(4) 録音・映像資料

ア 録音資料

- ・クラシック音楽、ポピュラー音楽は、国内外の著名な作曲家、演奏家の作品を中心に特に高く評価されたもの、注目されたものを収集する。なお、歴史的、文化的価値が高い作品は主要なものを収集する。
- ・邦楽、世界各地の民族音楽は、代表的な作品を収集する。
- ・演劇、演芸、朗読は、芸術性を考慮して代表的な作品を収集する。
- ・講演、対談などは、教育性、記録性を考慮して主要なものを収集する。
- ・語学、教材に関する資料は、精選する。
- ・愛知県や県内市町村に関する資料は、積極的に収集する。
- ・児童向けの資料は、児童の成長や学習に役立つものを収集する。

イ 映像資料

- ・劇映画、アニメーションは、各種の受賞作品、歴史的な名作など、評価の定まった作品を精選して収集する。
- ・記録映像は、資料的価値の高いものを収集する。
- ・生涯学習、ビジネス、教養、生活、レクリエーションに役立つ資料は、教育性、実用性を考慮して収集する。
- ・美術、音楽、演劇、スポーツに関する資料は、芸術性、記録性を考慮して、代表的なものを収集する。
- ・愛知県や県内市町村に関する資料は、積極的に収集する。
- ・児童向けの資料は、児童の成長や学習に役立つものを収集する。

(5) 電子資料

ア パッケージ系資料

- ・調査研究に有用なものを中心に精選して収集する。趣味・娯楽のものは収集しない。

イ ネットワーク系資料

- ・オンラインデータベースは、調査研究に有用なものを精選して選択する。
- ・電子書籍は、その特性や利便性に留意して、図書に準じて収集する。

(6) 大活字本

大活字本を含む大きな活字の図書は、幅広い年齢層が様々な目的で利用できるよう、利用動向に留意して収集する。

(7) ビジネス情報コーナー資料

ビジネス・就職支援に役立つ資料、情報を収集する。愛知県及び県内市町村や県内の関係団体が発行した資料は、情報提供用のパンフレット類も含めて幅広

く収集する。

ア 図書

- ・ビジネスに関する辞典、事典、名簿、年鑑、統計、調査などの参考図書は、幅広く収集する。
- ・最新の業界・市場動向を解説した図書は、幅広く収集する。
- ・職業、就職、起業、資格について解説をした図書は、幅広く収集する。資格について解説をした図서가試験問題集以外にない場合は、収集を検討する。
- ・ビジネススキル向上のための実用図書は、精選する。
- ・ユニークな企業家・起業家の伝記、経営手法を解説した図書は、主要なものを収集する。
- ・その他の図書も、ビジネス情報として必要と思われるものは収集する。

イ 雑誌

主要なビジネス総合雑誌は、積極的に収集する。

(8) ティーンズコーナー資料

ティーンズ(十代)の中心であるヤングアダルト(中高生世代)向けの資料を収集する。

ア 図書

- ・ヤングアダルトを主たる対象として出版された図書を収集する。
- ・大人又は児童を対象として出版されたものの中から、ヤングアダルトの関心の高い分野の図書、学校生活や家庭生活の中で役立つ図書、ヤングアダルトが主人公もしくはストーリーの中心になっている文学作品を収集する。
- ・外国語図書は、主要な文学賞を受けたヤングアダルト向け図書を収集する。

イ 新聞・雑誌

- ・ヤングアダルトを主たる対象として出版されたものを収集する。
- ・ヤングアダルトの関心の高い分野、役立つ分野を収集する。

(9) 多文化サービスコーナー資料

県内在住外国人向けに、母国語の資料を中心に収集する。

ア 図書

- ・日本で生活、仕事、学習していくために必要な図書を収集する。
- ・日本語を習得するための図書を収集する。
- ・日本を知るための図書を収集する。
- ・母国を知るための図書を収集する。

イ 新聞・雑誌

- ・母国及び日本の情報を得るためのものを収集する。

3 児童資料

- ・乳幼児・児童が読書の楽しさを体験できるよう、発達段階を考慮して収集する。
- ・ロングセラーや図書館が推薦したものなど利用の多いものは、複数購入を考慮する。

(1) 図書

ア 幼児・児童の感性・知識・創造力を豊かにすることができる図書を中心に収集する。

イ 評価の定まった図書は、積極的に収集する。

ウ 学習活動を支援するために各分野の主要な図書を収集する。ただし、学習参考書などは収集しない。

エ 愛知県についての学習に役立つ資料は、積極的に収集する。

オ 漫画は、学習の理解に役立つものを精選する。

(2) 絵本

ア 乳幼児・児童の感性、知識、創造力を豊かにすることができる作品を中心に、収集する。

イ 評価の定まったものは、積極的に収集する。

ウ 破損する可能性が著しく高いものや散逸する恐れのあるものは、原則として収集しない。ただし、評価の定まった作者の作品、芸術性の高い作品などは、精選して収集する。

エ 外国語絵本は、受賞作品、諸外国の代表的作品など主要なものを収集する

(3) 紙芝居

ア 紙芝居の特性を活かした作品を収集する。

イ 童話、民話及び創造力を豊かにする作品を収集する。

ウ 児童の成長や学習に役立つ生活指導、自然観察、行事などに関する作品を収集する。

(4) 新聞・雑誌

評価の定まったものを中心に収集する。

(5) 児童図書研究資料

ア 児童図書を紹介する読書案内及び書誌目録、索引などは、積極的に収集する。

イ 読み聞かせ、ブックトークなどの読書運動を支援する図書は、積極的に収集する。

4 視覚障害者等用資料

(1) デイジー資料等

全国の公共図書館及び視覚障害者情報提供施設の所蔵状況に留意し、作成又は選択的に収集する。

(2) 点字資料

利用状況に留意し、精選して収集する。

5 貸出文庫

図書館未設置市町村の住民のための資料を収集する。

(1) 図書

読書の楽しさを感じられる図書（一般図書・児童図書）や生活に役立つ図書を収集する。

(2) 絵本

乳幼児・児童の感性・創造力を豊かにできる作品を収集する。

(3) 紙芝居

紙芝居の特性を活かした作品を収集する。

附則

(施行期日)

- 1 この愛知県図書館資料選択基準は平成 21 年 4 月 1 日から実施する。
(廃止)
- 2 愛知県図書館中・短期資料収集方針（平成 15 年 4 月 1 日実施）は廃止する。

附則

次の項目を追加し、平成 22 年 4 月 1 日から実施する。

1 の一般資料に(6)大活字本、(7)ビジネス情報コーナー、(8)ティーンズコーナー及び(9)多文化サービスコーナーを追加し、4の次に5貸出文庫を追加する。

附則

重点収集資料を追加し、改正を平成 30 年 4 月 1 日から実施する。

附則

この愛知県図書館資料選択基準は令和 2 年 10 月 13 日から実施する。

附則

この愛知県図書館資料選択基準は令和 6 年 1 月 31 日から実施する。